

情報セキュリティ社会推進協議会 産学官人材育成WGの開催について（案）

平成27年4月

情報セキュリティ社会推進協議会運営委員会

1. 設置の背景

情報通信技術が、経済活動や社会生活において大きな便益をもたらし、さらにはイノベーションの源として一層の普及が進む中であって、情報セキュリティ上のリスクに対応していくため、情報セキュリティの素養を備えた人材の育成が急務である。

現在、高等教育段階においては、複数の大学や企業等が連携して情報セキュリティに関する実践的な教育を実施する取組や、企業による寄付講座の設置等の取組が始まっている。こうした取組を踏まえつつ、人材を将来にわたり輩出し続けていくためには、産学官がそれぞれの立場で役割を担い、継続的な育成の仕組みを構築していく必要がある。

人材の需要（雇用）と供給（教育）の好循環の構築に向け、産学官が情報を共有し、地域の枠を超えて連携・協力して人材育成を進めていくための議論を行う場として、産学官人材育成ワーキンググループを、情報セキュリティ社会推進協議会の下に設ける。

2. 主な議題

- ・ 情報セキュリティ人材育成に関する産学官の情報共有について
- ・ 情報セキュリティ人材育成に関して産学官がこれから果たすべき役割について

3. 参加メンバー

- ・ 大学等でサイバーセキュリティに関する教育・研究を担う教員及び研究者
- ・ サイバー関連事業者
- ・ 経済団体・業界団体
- ・ 関係府省庁（オブザーバー）